



## 変わりゆく東京と杉並 ～人口・土地利用の趨勢予測～

### 杉並区7地域編

#### 第一部 将来人口推計

杉並の人口 2010年～2035年の変化

## 2-1. 杉並の人口 2010年～2035年の変化

### 2-1-1. 総人口

総人口は、0.75%減少し、53.4万人に、ピークは2020年

杉並の総人口は、右図のように変化し、2010年の53.9万人から、2020年まで若干増加し54万人になり、期間中のピークを迎える。その後徐々に人口は減少し、2035年には53.5万人となり、2010年に比べ、4千人(0.75%)減少し、53.4万人となる。

2010年人口が多い上位3地域は、阿佐ヶ谷(9.2万人)、荻窪(8.7万人)、高円寺(8.5万人)。

2035年人口が多い上位3地域は、阿佐ヶ谷(8.5万人)、高円寺(8.5万人)、高井戸(8.3万人)である。



#### ●人口が増加するのは3地域

この間に人口が増加するのは、順に井草(4千人)、西荻(3.3千人)、高円寺(0.9千人)。

#### ●人口が減少するのは4地域

一方、減少する地域は、阿佐ヶ谷(-6.8千人)、荻窪(-4千人)、方南・和泉(-0.8千人)、高井戸(-0.6千人)である。

#### ●人口密度が高い地域は、高円寺

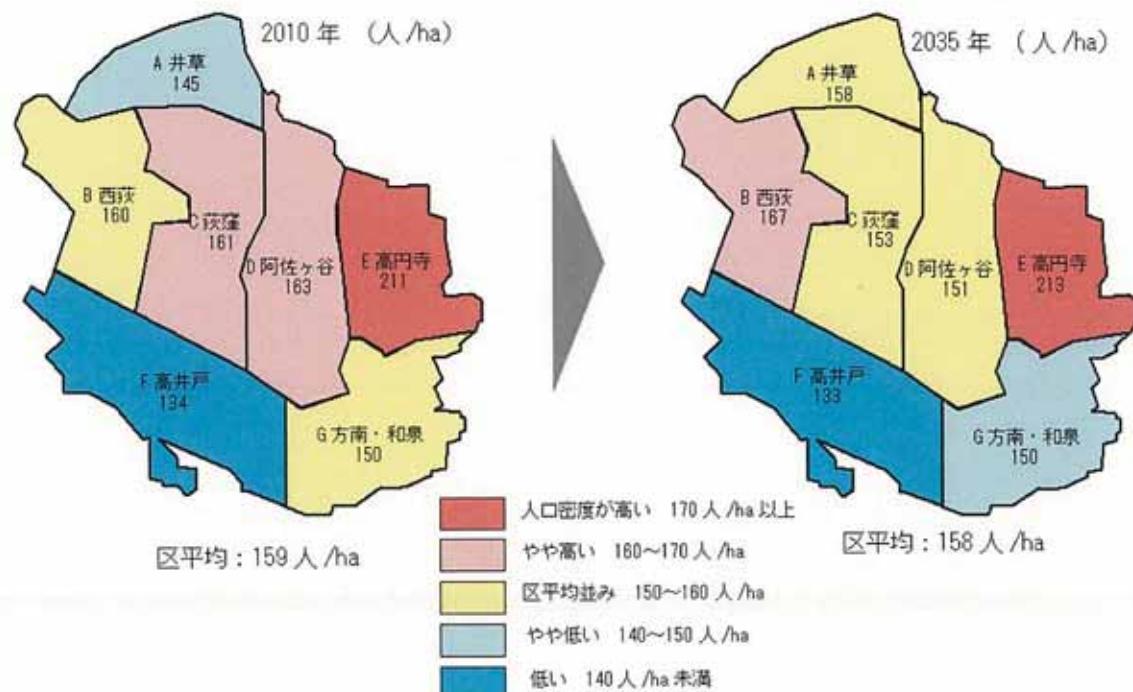
2010年は順に高円寺、阿佐ヶ谷、荻窪。2035年には、高円寺はあい変わらず密度が高く、次に西荻が高くなる。

2010年の人口密度は、中央線沿いに新宿に近い方から、高円寺、阿佐ヶ谷、荻窪、西荻が密度が高いが、2035年には、高円寺、西荻、井草、荻窪の順になる。

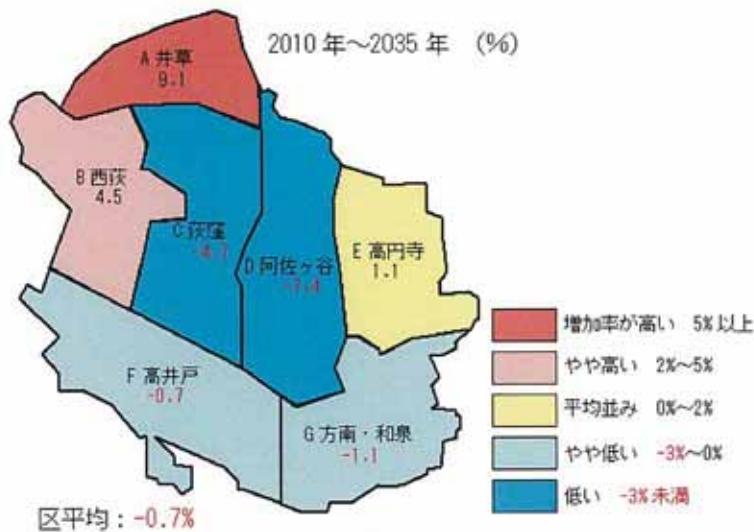
#### ●人口密度が低い地域は、高井戸

2010年の人口密度の低い地域は、低い順に高井戸、井草である。

2035年には、一番低いのは高井戸で変わらず、次が方南・和泉となる。



杉並区7地域別人口密度 2010年と2035年の比較



杉並区7地域別人口増加率 2010年～2035年

## ●人口増加率が高いのは、井草、西荻

2010年から2035年に人口増加率が高いのは、高いものから順に井草、西荻、高円寺。

## ●人口減少率が高いのは、阿佐ヶ谷、荻窪

一方、人口減少率が高いのは、高いものから順に阿佐ヶ谷、荻窪、方南・和泉、高井戸。

杉並区7地域別総人口の推移と予測

日本人+外国人	面積 (ha)	(人)								2010年～2035年	
		2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	増加数 (人)	増加率 (%)
杉並区全体	3,388	513,664	524,772	538,682	538,423	540,353	539,591	537,705	534,659	-4,023	-0.75
A井草地域	305	39,410	40,685	44,089	45,134	46,153	46,934	47,556	48,096	4,007	9.09
B西荻地域	458	68,243	69,958	73,061	73,846	74,910	75,600	76,098	76,382	3,321	4.55
C荻窪地域	540	81,881	84,720	86,691	86,015	85,648	84,761	83,787	82,660	-4,031	-4.65
D阿佐ヶ谷地域	564	91,204	91,377	92,203	90,790	89,821	88,516	87,045	85,356	-6,847	-7.43
E高円寺地域	401	82,247	83,746	84,450	84,605	85,209	85,359	85,411	85,353	903	1.07
F高井戸地域	632	78,073	81,712	84,408	84,154	84,428	84,406	84,219	83,822	-586	-0.69
G方南・和泉地域	488	72,606	72,574	73,780	73,879	74,185	74,015	73,589	72,992	-788	-1.07

杉並区7地域別人口密度の推移と予測

日本人+外国人	(人/ha)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	増加密度 (人/ha)	
杉並区全体	152	155	159	159	159	159	159	158	-1.2	
A井草地域	129	133	145	148	151	154	156	158	13.1	
B西荻地域	149	153	160	161	164	165	166	167	7.3	
C荻窪地域	152	157	161	159	159	157	155	153	-7.5	
D阿佐ヶ谷地域	162	162	163	161	159	157	154	151	-12.1	
E高円寺地域	205	209	211	211	212	213	213	213	2.3	
F高井戸地域	124	129	134	133	134	134	133	133	-0.9	
G方南・和泉地域	149	149	151	151	152	152	151	150	-1.6	

このページに関する資料：杉並区資料より作成

## 2-1-2. 外国人人口

2035年には、杉並区で1.5万人、総人口に占める割合は2.8%

杉並区の外国人人口は、右図のように変化し、2010年の1.15万人から、2035年の1.5万人へと、0.35万人（30.5%）増加する。外国人構成比は2.1%から2.8%に0.7ポイント上昇する。

2010年に外国人が2千人を超える地域は、高円寺、阿佐ヶ谷の2地域であった。

2035年に外国人が2千人を超えるのは、この2地域の他に、方南・和泉、高井戸、荻窪が加わる。



### ●外国人が大きく増加する地域は高井戸、方南・和泉

外国人が2010年～2035年の間で大きく増加する地域は、高井戸と方南・和泉で、増加数は共に千人を超える。

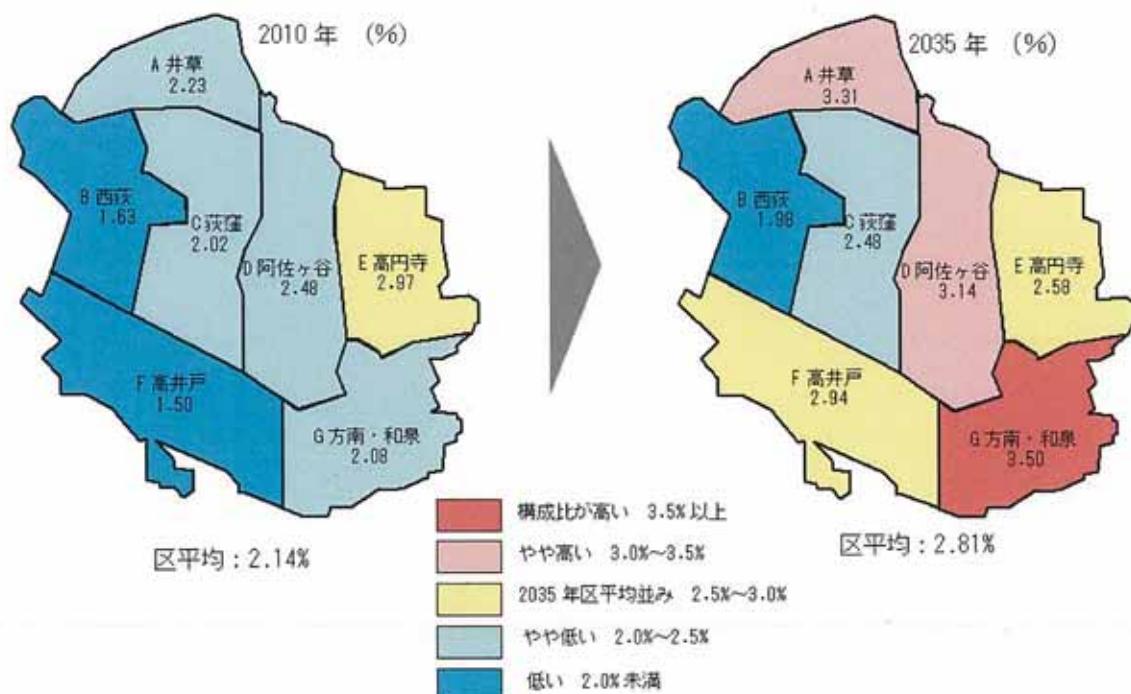
### ●外国人が減少するのは高円寺

この間に、外国人が唯一減少する地域は、高円寺でこの間に3百人減少する。

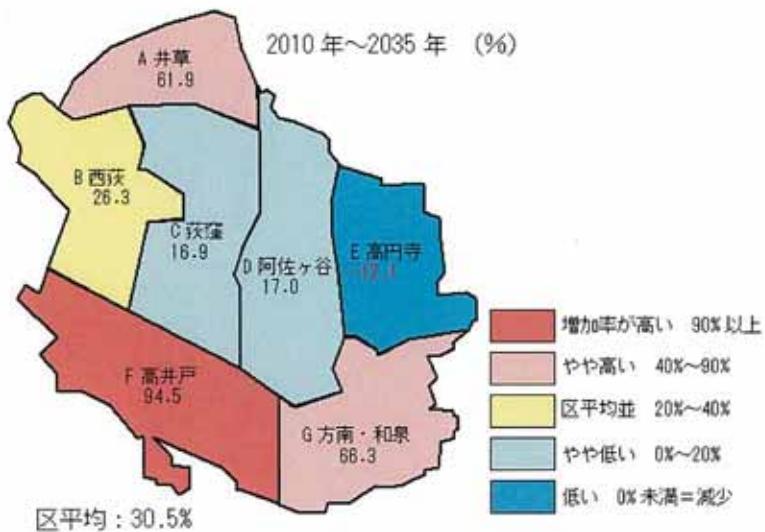
### ●外国人構成比は、2035年に方南・和泉が3.5%になり最も高くなる

2010年には、杉並区で外国人構成比が2.14%であり、3%を超える地域は無かった。

2035年には、方南・和泉、井草、阿佐ヶ谷の三地域で外国人構成比が3%を超え、杉並区平均で2.81%になる。



杉並区7地域別外国人構成比 2010年と2035年の比較



### 杉並区7地域別外国人人口増加率 2010年～2035年

#### ●外国人人口増加率が高いのは、高井戸、方南・和泉、井草

この間の外国人増加率は区平均で30.5%であり、最も高いのは高井戸の94.5%、次いで方南・和泉の66.3%、井草の61.9%が増加率が高い地域である。

#### ●外国人人口増加率が低いのは、唯一減少する高円寺と荻窪、阿佐ヶ谷

この間の外国人増加率が低いのは、唯一外国人人口が減少する高円寺と、増加率が区平均の半分程度の荻窪（16.9%）と阿佐ヶ谷（17.0%）である。

杉並区7地域別外国人人口の推移と予測

外国人	(人)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	増加数(人)	増加率(%)
杉並区全体	10,508	10,988	11,524	12,074	12,711	13,427	14,205	15,044	3,520	30.5
A 井草地域	756	861	983	1,102	1,223	1,345	1,466	1,591	608	61.9
B 西荻地域	1,020	1,132	1,188	1,242	1,298	1,353	1,429	1,501	313	26.3
C 荻窪地域	1,536	1,712	1,755	1,795	1,835	1,871	1,951	2,052	297	16.9
D 阿佐ヶ谷地域	2,384	2,317	2,289	2,256	2,272	2,397	2,526	2,677	388	17.0
E 高円寺地域	2,468	2,608	2,505	2,428	2,368	2,299	2,248	2,203	-302	-12.1
F 高井戸地域	925	1,022	1,267	1,506	1,756	1,997	2,228	2,464	1,197	94.5
G 方南・和泉地域	1,419	1,336	1,537	1,745	1,960	2,163	2,357	2,555	1,018	66.3

杉並区7地域別外国人構成比の推移と予測

外国人構成比	(人)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	ポイント増(%)	
杉並区全体	2.05%	2.09%	2.14%	2.24%	2.35%	2.49%	2.64%	2.81%	0.67%	
A 井草地域	1.92%	2.12%	2.23%	2.44%	2.65%	2.87%	3.08%	3.31%	1.08%	
B 西荻地域	1.49%	1.62%	1.63%	1.68%	1.73%	1.79%	1.88%	1.96%	0.34%	
C 荻窪地域	1.88%	2.02%	2.02%	2.09%	2.14%	2.21%	2.33%	2.48%	0.46%	
D 阿佐ヶ谷地域	2.61%	2.54%	2.48%	2.49%	2.53%	2.71%	2.90%	3.14%	0.65%	
E 高円寺地域	3.00%	3.11%	2.97%	2.87%	2.78%	2.69%	2.63%	2.58%	-0.39%	
F 高井戸地域	1.18%	1.25%	1.50%	1.79%	2.08%	2.37%	2.65%	2.94%	1.44%	
G 方南・和泉地域	1.95%	1.84%	2.08%	2.36%	2.64%	2.92%	3.20%	3.50%	1.42%	

このページに関する資料：杉並区資料より作成

## 2-1-3. 年少人口(15歳未満)

5.1万人から1.6万人(31%)減少し、3.5万人になる

杉並区の年少人口は、2010年の5.1万人から、2035年には1.6万人(31%)減少し、3.5万人になる。構成比は、9.5%から6.6%に2.9ポイント減少する。7地域全部が年少人口が千人以上減少する。

2010年に年少人口が5千人を割る地域は、一つも無かったが、2035年には、方南・和泉(3.9千人)、高円寺(4.2千人)、井草(4.3千人)の3地域が5千人を割ることになる。

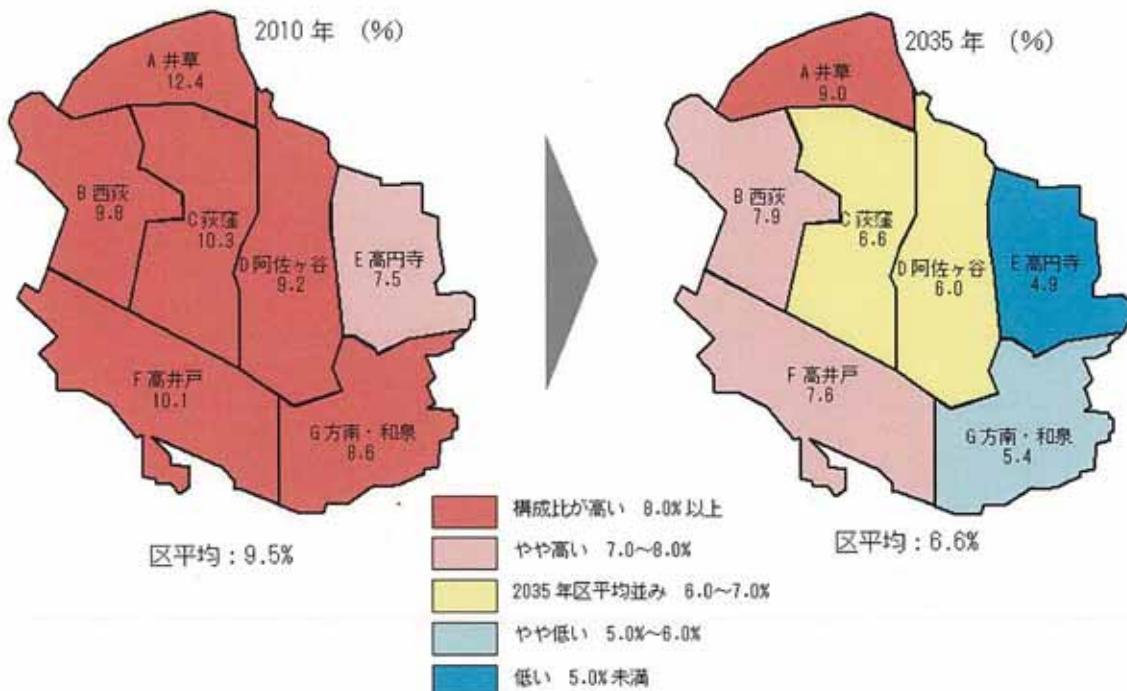


### ●年少人口が増加する地域は一つもない

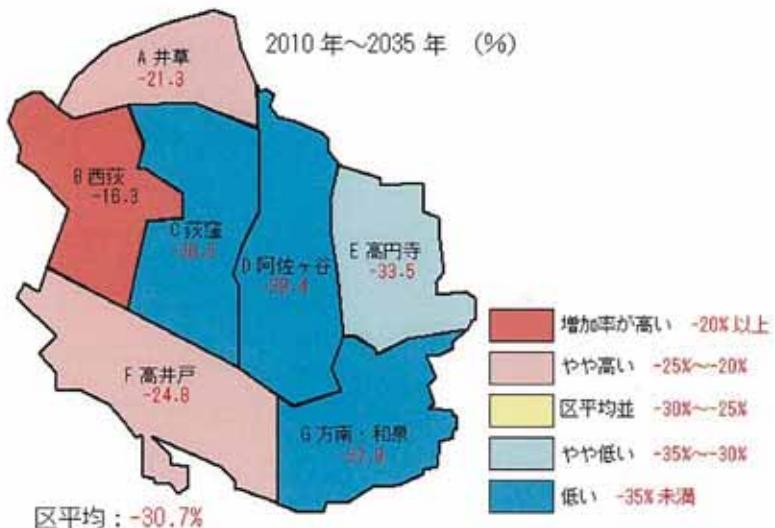
全ての地域で年少人口は減少する。減少数が大きい地域(3千人以上減)は荻窪と阿佐ヶ谷。一方、減少数が小さい地域は(1千人台)は、井草と西荻である。

### ●年少人口構成比は、全ての地域でポイント減

全ての地域で構成比のポイントが減少する。2010年には構成比が高い地域の水準8%を割る地域は高円寺だけであったが、2035年には、8%を上回っている地域は井草だけになる。



杉並区7地域別年少人口構成比 2010年と2035年の比較



杉並区 7 地域別年少人口増加率 2010 年～2035 年

### ●年少人口増加率は西高東低

この間の増加率は区平均で-30%強、最も増加率が高い西荻でも-15%以下である。

増加率が低い地域（-35%未満）は、阿佐ヶ谷、荻窪、方南・和泉の3地域。

杉並区7地域別年少人口の推移と予測

日本人+外国人	(人)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	増加数(人)	増加率(%)
杉並区全体	50,636	49,651	51,211	50,220	47,198	41,129	37,367	35,477	-15,734	-30.7
A 井草地域	4,872	4,816	5,489	5,604	5,398	4,782	4,441	4,318	-1,171	-21.3
B 西荻地域	6,857	6,513	7,174	7,332	7,274	6,648	6,200	6,007	-1,167	-16.3
C 荻窪地域	8,532	8,821	8,912	8,476	7,664	6,520	5,817	5,480	-3,432	-38.5
D 阿佐ヶ谷地域	8,686	8,361	8,452	8,090	7,317	6,196	5,505	5,126	-3,326	-39.4
E 高円寺地域	6,921	6,585	6,350	6,078	5,687	4,868	4,428	4,221	-2,129	-33.5
F 高井戸地域	8,018	8,211	8,523	8,428	7,989	7,146	6,626	6,409	-2,114	-24.8
G 方南・和泉地域	6,750	6,344	6,311	6,212	5,868	4,968	4,349	3,917	-2,394	-37.9

杉並区7地域別年少人口構成比の推移と予測

日本人+外国人	(人)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	ポイント増	
杉並区全体	9.9%	9.5%	9.5%	9.3%	8.7%	7.6%	6.9%	6.6%	-2.9%	
A 井草地域	12.4%	11.8%	12.4%	12.4%	11.7%	10.2%	9.3%	9.0%	-3.5%	
B 西荻地域	10.0%	9.3%	9.8%	9.9%	9.7%	8.8%	8.1%	7.9%	-2.0%	
C 荻窪地域	10.4%	10.4%	10.3%	9.9%	8.9%	7.7%	6.9%	6.6%	-3.7%	
D 阿佐ヶ谷地域	9.5%	9.2%	9.2%	8.9%	8.1%	7.0%	6.3%	6.0%	-3.2%	
E 高円寺地域	8.4%	7.9%	7.5%	7.2%	6.7%	5.7%	5.2%	4.9%	-2.6%	
F 高井戸地域	10.3%	10.0%	10.1%	10.0%	9.5%	8.5%	7.9%	7.6%	-2.5%	
G 方南・和泉地域	9.3%	8.7%	8.6%	8.4%	7.9%	6.7%	5.9%	5.4%	-3.2%	

このページに関する資料：杉並区資料より作成

## 2-1-4. 未就学児童人口（0～5歳）

2. 12万人から7.5千人（35%）減少し、1.37万人になる

杉並区の未就学児童人口は、2010年の2.12万人から、2035年には0.75万人（35.4%）減少し、1.37万人になる。

構成比は、3.9%から2.6%に1.4ポイント減少する。7地域全部が構成比が低下する。

2010年に未就学児童が2千人を割る地域は、一つも無かったが、2035年には、方南・和泉（1.5千人）、井草（1.7千人）、高円寺（1.7千人）の3地域が2千人を割ることになる。

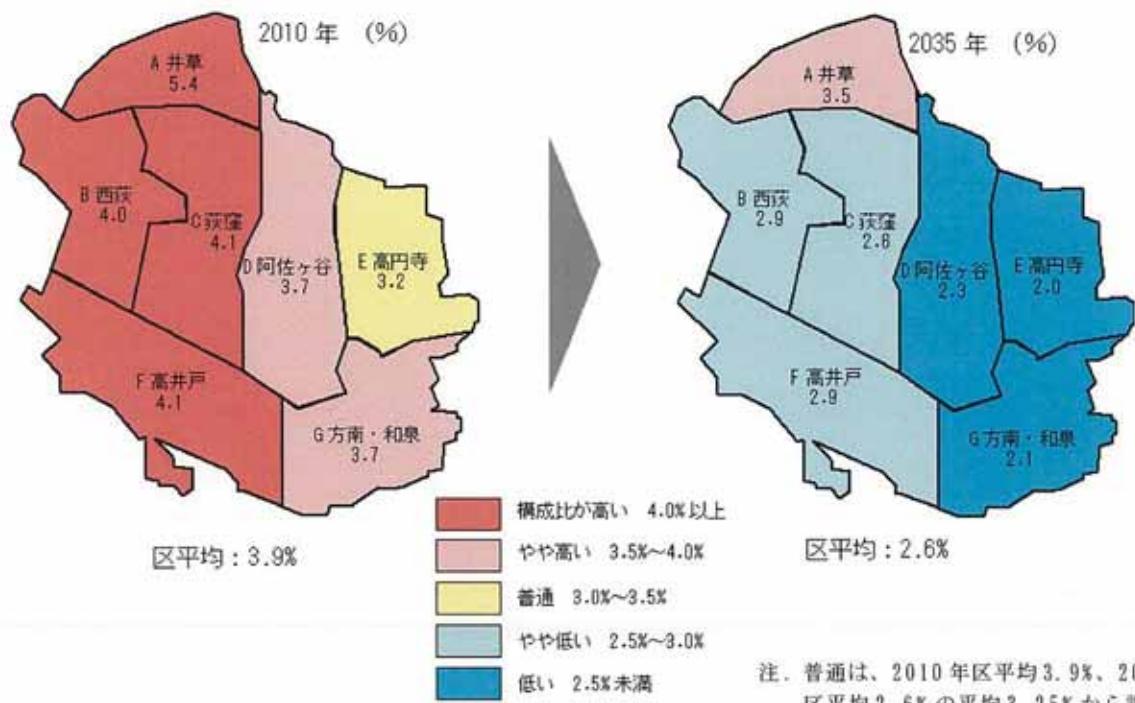


### ●未就学児童人口は全ての地域で減少

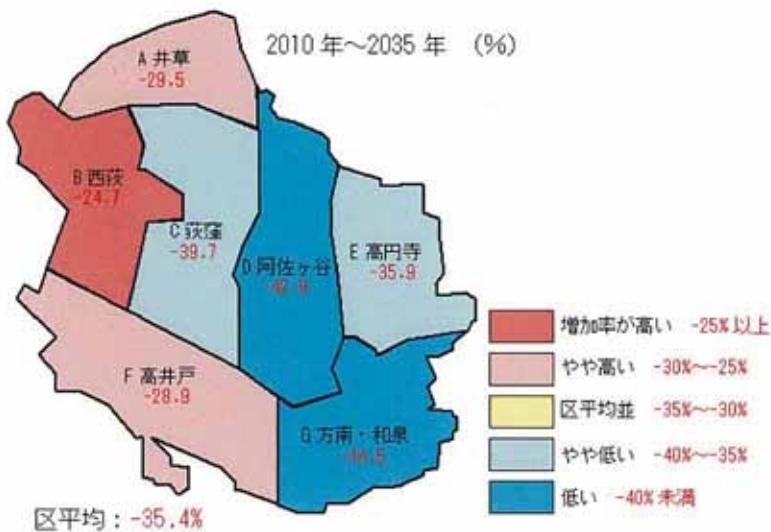
全ての地域で未就学児童人口は減少する。減少数が大きい地域（千人以上減）は、阿佐ヶ谷、荻窪、方南・和泉。一方、減少数が小さい地域（7百人台）は、井草と西荻である。

### ●未就学児童人口構成比は、全ての地域で1ポイント以上減少

全ての地域で構成比が1ポイント以上減少する。2010年には未就学児童構成比がやや高い（3.5%～4.0）を下回る地域は高円寺だけであるが、2035年にやや高い地域は井草だけになった。



杉並区7地域別未就学児童人口構成比 2010年と2035年の比較



### 杉並区7地域別未就学児童人口増加率 2010年～2035年

#### ●未就学児童人口増加率も西高東低

この間の増加率は区平均で-35.4%、最も増加率が高い西荻でも-24.7%である

増加率が低い地域(-40%以上)は、方南・和泉(増加率-44.5、以下同じ)阿佐ヶ谷(-42.9)の2地域。

杉並区7地域別未就学児童人口の推移と予測

日本人+外国人	(人)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	増加数(人)	増加率(%)
杉並区全体	19,669	20,006	21,179	18,295	16,345	14,370	13,273	13,685	-7,494	-35.4
A 井草地域	2,022	2,018	2,390	2,093	1,878	1,706	1,623	1,685	-705	-29.5
B 西荻地域	2,648	2,541	2,958	2,718	2,513	2,286	2,139	2,227	-731	-24.7
C 荻窪地域	3,184	3,591	3,546	3,003	2,614	2,236	2,066	2,137	-1,409	-39.7
D 阿佐ヶ谷地域	3,364	3,378	3,450	2,857	2,492	2,139	1,930	1,969	-1,481	-42.9
E 高円寺地域	2,718	2,632	2,672	2,235	2,013	1,756	1,622	1,712	-960	-35.9
F 高井戸地域	3,045	3,200	3,429	3,062	2,761	2,486	2,366	2,438	-991	-28.9
G 方南・和泉地域	2,688	2,646	2,734	2,326	2,073	1,761	1,526	1,517	-1,217	-44.5

杉並区7地域別未就学児童人口構成比の推移と予測

日本人+外国人	(人)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	ポイント増	
杉並区全体	3.8%	3.8%	3.9%	3.4%	3.0%	2.7%	2.5%	2.6%	-1.4%	
A 井草地域	5.1%	5.0%	5.4%	4.6%	4.1%	3.6%	3.4%	3.5%	-1.9%	
B 西荻地域	3.9%	3.6%	4.0%	3.7%	3.4%	3.0%	2.8%	2.9%	-1.1%	
C 荻窪地域	3.9%	4.2%	4.1%	3.5%	3.1%	2.6%	2.5%	2.6%	-1.5%	
D 阿佐ヶ谷地域	3.7%	3.7%	3.7%	3.1%	2.8%	2.4%	2.2%	2.3%	-1.4%	
E 高円寺地域	3.3%	3.1%	3.2%	2.6%	2.4%	2.1%	1.9%	2.0%	-1.2%	
F 高井戸地域	3.9%	3.9%	4.1%	3.6%	3.3%	2.9%	2.8%	2.9%	-1.2%	
G 方南・和泉地域	3.7%	3.6%	3.7%	3.1%	2.8%	2.4%	2.1%	2.1%	-1.6%	

このページに関する資料：杉並区資料より作成

## 2-1-5. 小学生世代人口（6～11歳）

### 1. 99万人から0.59万人（29%）減少し、1.41万人になる

杉並区の小学生世代人口は、2010年の1.99万人から、2035年には0.59万人（29.4%）減少し、1.41万人になる。構成比は、3.7%から2.6%に1.1ポイント減少する。7地域全部が構成比が低下する。

2010年に小学生世代人口が2千人を割る地域は、一つも無かったが、2035年には、方南・和泉（1.5千人）、高円寺（1.6千人）、井草（1.7千人）の3地域が2千人を割ることになる。

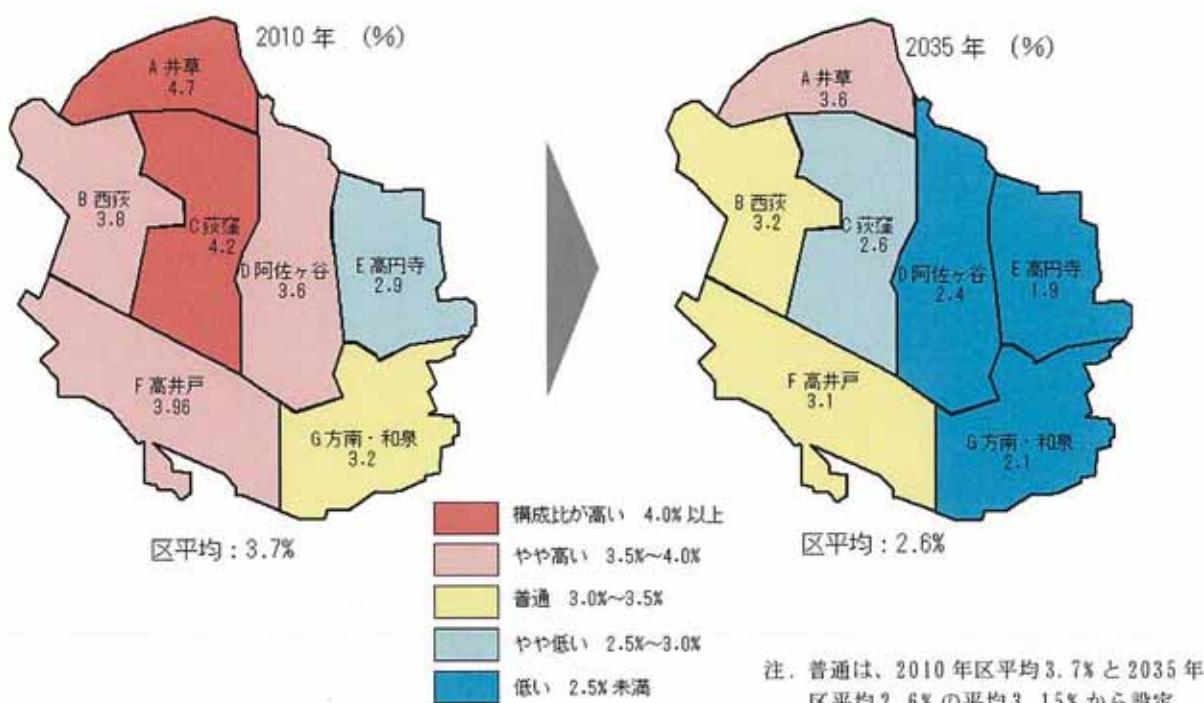


#### ●小学生世代人口は全ての地域で減少する

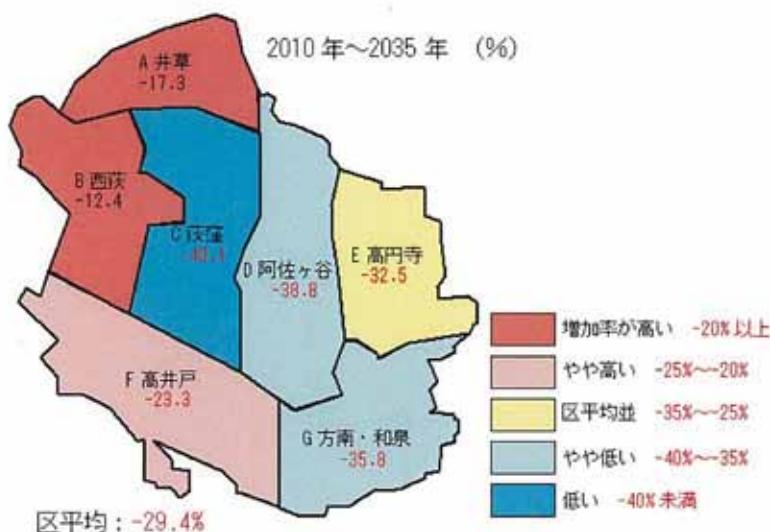
全ての地域で年少人口は減少する。減少数が大きい地域（千人以上減）は阿佐ヶ谷、荻窪。一方、減少数が小さい地域は（3百人台）は、井草と西荻である。

#### ●小学生世代人口構成比は、全ての地域で0.6ポイント以上減少する

全ての地域で構成比が0.6ポイント以上減少する。2010年には3%（平均並）を割る地域は高円寺だけであったが、2035年に3%を上回っている地域は、井草、西荻、高井戸の3地域になった。



杉並区7地域別小学生世代人口構成比 2010年と2035年の比較



杉並区 7 地域別小学生世代人口増加率 2010年～2035年

● 小学生世代人口増加率は西側の井草、西荻、高井戸が高く、高円寺は並。

この間の増加率は区平均で-29.4%、増加率が高い地域は、西荻（増加率-12.4%、以下同じ）、井草（-17.3%）の2地域である。増加率が低い地域（-40%未満）は、荻窪の1地域。

杉並区7地域別小学生世代人口の推移と予測

日本人+外国人	(人)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	増加数(人)	増加率(%)
杉並区全体	19,750	19,593	19,943	21,439	19,529	17,257	15,367	14,083	-5,860	-29.4
A 井草地域	1,900	1,884	2,078	2,393	2,238	1,992	1,820	1,719	-359	-17.3
B 西荻地域	2,634	2,652	2,781	3,127	3,050	2,819	2,601	2,438	-343	-12.4
C 萩窪地域	3,449	3,419	3,625	3,623	3,192	2,753	2,386	2,171	-1,454	-40.1
D 阿佐ヶ谷地域	3,374	3,272	3,314	3,474	3,030	2,605	2,266	2,028	-1,286	-38.8
E 高円寺地域	2,642	2,634	2,414	2,608	2,310	2,023	1,789	1,629	-785	-32.5
F 高井戸地域	3,147	3,278	3,340	3,566	3,318	2,986	2,714	2,562	-778	-23.3
G 方南・和泉地域	2,604	2,454	2,391	2,648	2,391	2,079	1,791	1,536	-855	-35.8

杉並区7地域別小学生世代人口構成比の推移と予測

日本人+外国人	(人)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	ポイント増	
杉並区全体	3.8%	3.7%	3.7%	4.0%	3.6%	3.2%	2.9%	2.6%	-1.1%	
A 井草地域	4.8%	4.6%	4.7%	5.3%	4.8%	4.2%	3.8%	3.6%	-1.1%	
B 西荻地域	3.9%	3.8%	3.8%	4.2%	4.1%	3.7%	3.4%	3.2%	-0.6%	
C 萩窪地域	4.2%	4.0%	4.2%	4.2%	3.7%	3.2%	2.8%	2.6%	-1.6%	
D 阿佐ヶ谷地域	3.7%	3.6%	3.6%	3.8%	3.4%	2.9%	2.6%	2.4%	-1.2%	
E 高円寺地域	3.2%	3.1%	2.9%	3.1%	2.7%	2.4%	2.1%	1.9%	-1.0%	
F 高井戸地域	4.0%	4.0%	4.0%	4.2%	3.9%	3.5%	3.2%	3.1%	-0.9%	
G 方南・和泉地域	3.6%	3.4%	3.2%	3.6%	3.2%	2.8%	2.4%	2.1%	-1.1%	

## 2-1-6. 生産年齢人口(15～64歳)

38.4万人から0.82万人(2.2%)減少し、37.5万人になる

杉並区の生産年齢人口は、2010年の38.4万人から、2035年には0.82万人(2.2%)減少し、37.5万人になる。

構成比は、71.2%から70.2%に1ポイント減少する。高円寺と方南・和泉の2地域の構成比が上昇し、他の5地域の構成比が低下する。



### ●生産年齢人口が増加する地域は井草、高円寺、西荻の3地域

2010年～2035年に生産年齢人口が、増加する地域は、井草(増加数2.2千人、以下同様)、高円寺(1.5千人)、西荻(0.4千人)である。

一方減少する地域は、阿佐ヶ谷(減少数5.8千人、以下同様)、荻窪(3.7千人)、高井戸(2.3千人)、方南・和泉(0.3千人)である。

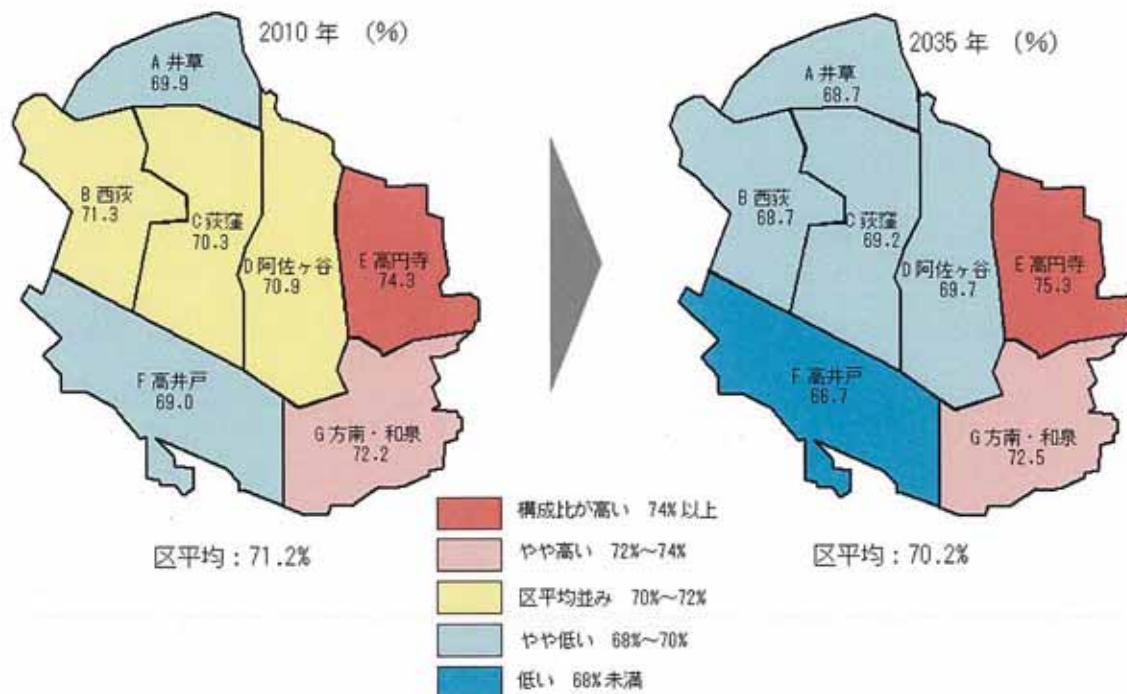
### ●生産年齢人口構成比は、高円寺と方南・和泉の2地域がポイント増加

2010年～2035年に構成比が増加するのは、高円寺(増加ポイント1.0、以下同じ)、方南・和泉(0.3)の2地域である。

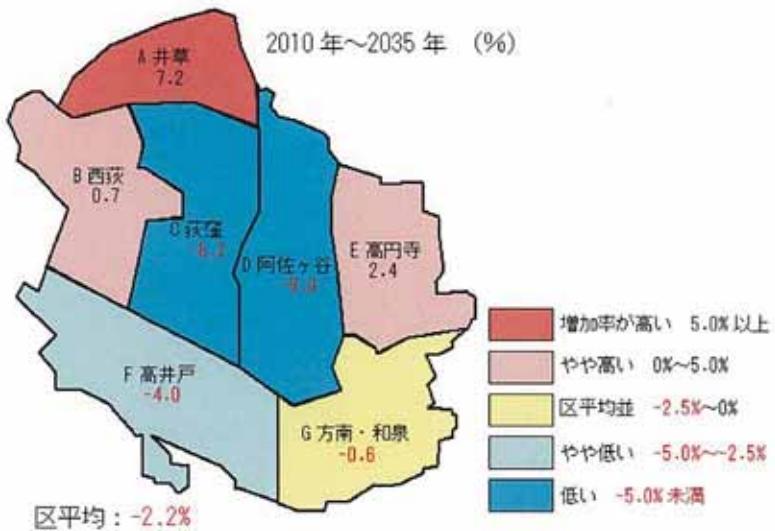
一方、減少する地域は、西荻(減少ポイント2.6、以下同じ)、高井戸(2.3)、阿佐ヶ谷(1.22)、井草(1.20)、荻窪(1.16)の5地域。

### ●2035年の生産人口構成比は西低東高

生産人口構成比の2010年と2035年を比較すると西低東高の傾向が強まる。



杉並区7地域別生産年齢人口構成比 2010年と2035年の比較



杉並区7地域別生産年齢人口増加率 2010年～2035年

### ● 生産年齢人口増加率が高い井草、やや高い高円寺、西荻

この間の増加率は区平均で -2.2%、増加率が高い地域は井草（増加率 7.2%、以下同じ）、やや高いのが高円寺（2.4%）、西荻（0.7%）である。

増加率が低い地域は、阿佐ヶ谷（-9.0%）、荻窪（-6.2%）で、やや低い地域は、高井戸（-4.0%）である。

杉並区7地域別生産年齢人口の推移と予測

日本人+外国人	(人)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	増加数(人)	増加率(%)
杉並区全体	379,408	382,414	383,577	380,257	382,969	388,166	385,368	375,291	-8,286	-2.2
A井草地域	28,700	29,181	30,837	31,297	32,125	33,244	33,564	33,064	2,227	7.2
B西荻地域	50,382	51,360	52,100	51,980	52,636	53,599	53,660	52,471	371	0.7
C荻窪地域	59,716	60,799	60,974	60,202	60,359	60,565	59,482	57,176	-3,798	-6.2
D阿佐ヶ谷地域	67,515	66,501	65,352	63,701	63,383	63,432	62,105	59,456	-5,896	-9.0
E高円寺地域	62,539	63,098	62,785	62,776	63,680	65,072	65,159	64,272	1,487	2.4
F高井戸地域	56,225	57,914	58,255	57,604	57,794	58,223	57,498	55,914	-2,341	-4.0
G方南・和泉地域	54,331	53,561	53,274	52,696	52,993	54,031	53,900	52,939	-335	-0.6

杉並区7地域別生産年齢人口構成比の推移と予測

日本人+外国人	(人)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	ポイント増	
杉並区全体	73.9%	72.9%	71.2%	70.6%	70.9%	71.9%	71.7%	70.2%	-1.01%	
A井草地域	72.8%	71.7%	69.9%	69.3%	69.6%	70.8%	70.6%	68.7%	-1.20%	
B西荻地域	73.8%	73.4%	71.3%	70.4%	70.3%	70.9%	70.5%	68.7%	-2.61%	
C荻窪地域	72.9%	71.8%	70.3%	70.0%	70.5%	71.5%	71.0%	69.2%	-1.16%	
D阿佐ヶ谷地域	74.0%	72.8%	70.9%	70.2%	70.6%	71.7%	71.3%	69.7%	-1.22%	
E高円寺地域	76.0%	75.3%	74.3%	74.2%	74.7%	76.2%	76.3%	75.3%	0.96%	
F高井戸地域	72.0%	70.9%	69.0%	68.5%	68.5%	69.0%	68.3%	66.7%	-2.31%	
G方南・和泉地域	74.8%	73.8%	72.2%	71.3%	71.4%	73.0%	73.2%	72.5%	0.32%	

このページに関する資料：杉並区資料より作成

## 2-1-7. 老年人口(65歳以上)

10.4万人から2万人(19.3%)増加し、12.4万人になる

杉並区の老年人口は、2010年の10.4万人から、2035年には2万人(19.3%)増加し、12.4万人になる。

構成比は、19.3%から23.2%に3.9ポイント増加する。全7地域の構成比が上昇する。



### ●全地域で老年人口が増加する

2010年～2035年に老年人口が増加するのは全地域で、増加数が3千人を越えるのは、西荻(増加数4.1千人、以下同様)、高井戸(3.9千人)、荻窪(3.2千人)の3地区である。

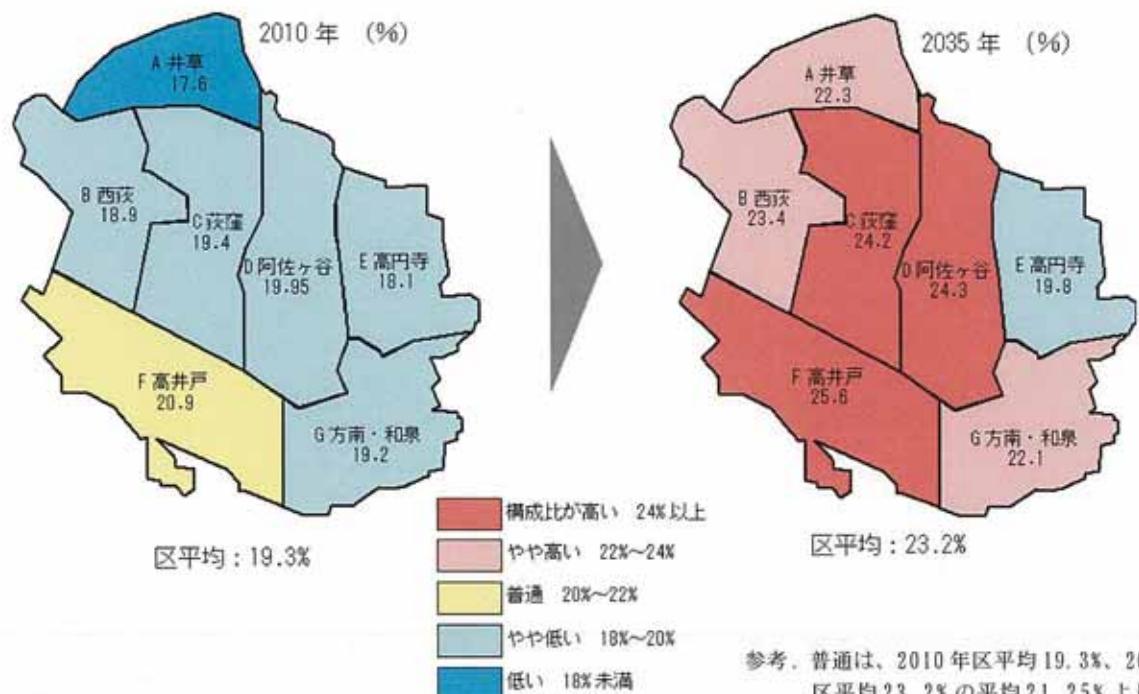
### ●老年人口構成比の変化

2010年には構成比がやや高い(22～24%)を越える地域は無かったが、2035年には構成比がやや高いを越えないのは高円寺だけになる。

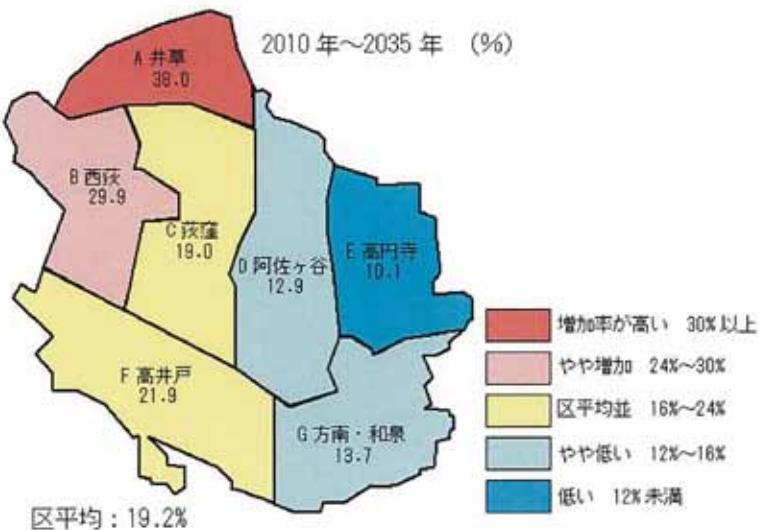
### ●老年人口構成比のポイント増加が目立つのは、荻窪、高井戸、井草、西荻、阿佐ヶ谷

2010年～2035年に構成比は杉並区で3.9ポイント増加する。構成比増加ポイントが4ポイント以上増加するのは、荻窪(増加ポイント4.8、以下同じ)、高井戸(4.8)、井草(4.7)、西荻(4.6)、阿佐ヶ谷(4.4)の5地域である。

一方、構成比増加ポイントが低い地域は、高円寺(1.6)、方南・和泉(2.9)の2地域。



杉並区7地域別老年人口構成比 2010年と2035年の比較



杉並区7地域別老人人口増加率 2010年～2035年

### ●杉並の老人人口増加率は西高東低

#### 増加率が高い 井草、やや高い 西荻、並の荻窪、高井戸

この間の増加率は区平均で19.2%、増加率が高い地域は井草（増加率38.0%、以下同じ）、やや高いのが西荻（29.9%）並が高井戸（21.9%）と荻窪（19.0%）である。

増加率が低い地域は、高円寺(10.1%)、やや低い地域は阿佐ヶ谷（12.9%）と方南・和泉（13.7%）である。

杉並区7地域別老人人口の推移と予測

日本人+外国人	(人)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	増加数(人)	増加率(%)
杉並区全体	83,620	92,707	103,894	107,946	110,185	110,296	114,971	123,891	19,997	19.2
A井草地域	5,838	6,688	7,763	8,232	8,630	8,908	9,551	10,714	2,951	38.0
B西荻地域	11,004	12,085	13,787	14,534	15,000	15,352	16,238	17,904	4,117	29.9
C荻窪地域	13,633	15,100	16,805	17,337	17,625	17,676	18,488	20,003	3,198	19.0
D阿佐ヶ谷地域	15,003	16,515	18,399	18,999	19,120	18,888	19,435	20,775	2,376	12.9
E高円寺地域	12,787	14,063	15,315	15,751	15,841	15,420	15,824	16,860	1,545	10.1
F高井戸地域	13,830	15,587	17,630	18,122	18,645	19,036	20,095	21,499	3,869	21.9
G方南・和泉地域	11,525	12,669	14,195	14,970	15,324	15,016	15,340	16,136	1,941	13.7

杉並区7地域別老人人口構成比の推移と予測

日本人+外国人	(人)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	ポイント増	
杉並区全体	16.3%	17.7%	19.3%	20.0%	20.4%	20.4%	21.4%	23.2%	3.9%	
A井草地域	14.8%	16.4%	17.6%	18.2%	18.7%	19.0%	20.1%	22.3%	4.7%	
B西荻地域	16.1%	17.3%	18.9%	19.7%	20.0%	20.3%	21.3%	23.4%	4.6%	
C荻窪地域	16.6%	17.8%	19.4%	20.2%	20.6%	20.9%	22.1%	24.2%	4.8%	
D阿佐ヶ谷地域	16.4%	18.1%	20.0%	20.9%	21.3%	21.3%	22.3%	24.3%	4.4%	
E高円寺地域	15.5%	16.8%	18.1%	18.6%	18.6%	18.1%	18.5%	19.8%	1.6%	
F高井戸地域	17.7%	19.1%	20.9%	21.5%	22.1%	22.6%	23.9%	25.6%	4.8%	
G方南・和泉地域	15.9%	17.5%	19.2%	20.3%	20.7%	20.3%	20.8%	22.1%	2.9%	

このページに関する資料：杉並区資料より作成

## 2-1-8. 前期老人人口(65歳～74歳)

5.2万人から1.3万人(25.9%)増加し、6.5万人になる

杉並区の前期老人人口は、2010年の5.2万人から、2035年には1.3万人(25.9%)増加し、6.5万人になる。

構成比は、9.5%から12.2%に2.6ポイント増加する。全7地域の構成比が上昇する。



### ●全7地域で前期老人人口が増加する

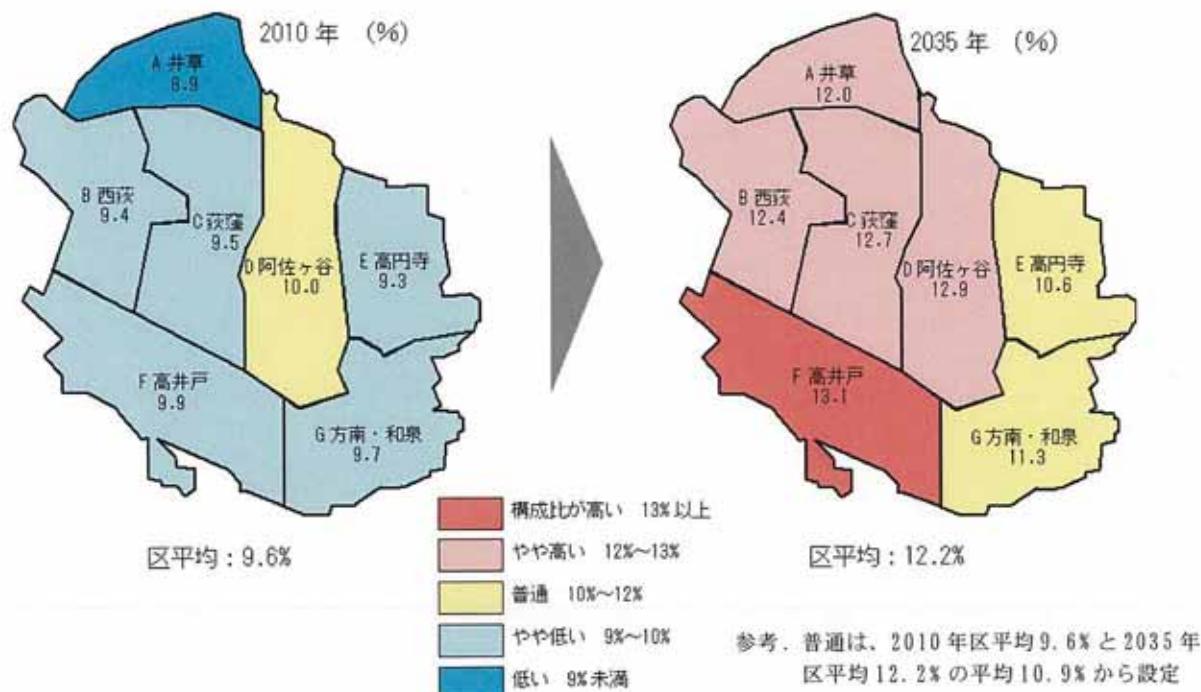
2010年～2035年に老人人口が増加するのは全7地域で、増加数が2千人を越えるのは、西荻(増加数2.6千人、以下同様)、高井戸(2.6千人)、荻窪(2.2千人)の3地区である。

### ●前期老人人口構成比の変化

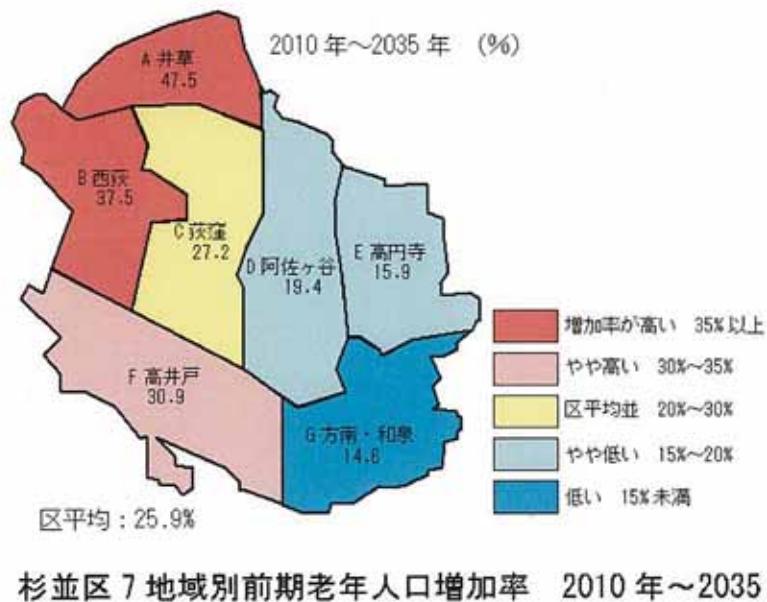
2010年には構成比がやや高い(12～13%)を越える地域は無かったが、2035年にはやや高いを越えないのは高円寺と方南・和泉地域の2地域になる。

### ●前期老人人口構成比の増加が目立つのは、荻窪、高井戸、井草

2010年～2035年に杉並区で構成比が2.6ポイント増加する。構成比が3ポイント以上増加するのは、荻窪(増加ポイント3.17、以下同じ)、高井戸(3.16)、井草(3.13)の3地域である。注：西荻(2.98)一方、構成比増加ポイントが1ポイント台の低い地域は、高円寺(1.36)、方南・和泉(1.54)の2地域。



杉並区7地域別前期老人人口構成比 2010年と2035年の比較



杉並区7地域別前期老人人口増加率 2010年～2035年

### ● 杉並の前期老人人口増加率も西高東低

増加率が高い 井草、西荻、やや高い 高井戸、並の萩窪

この間の増加率は区平均で25.9%、増加率が高い地域は井草（増加率47.5%、以下同じ）、西荻（37.5%）、やや高いのが高井戸（30.9%）並が萩窪（27.2%）である。

増加率が低い地域は、方南・和泉（14.6%）、やや低い地域は高円寺（15.9%）と阿佐ヶ谷（19.4%）である。

杉並区7地域別前期老人人口の推移と予測

日本人+外国人	(人)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	増加数(人)	増加率(%)
杉並区全体	48,267	48,955	51,617	57,722	56,110	50,460	54,333	64,967	13,350	25.9
A 井草地域	3,494	3,582	3,926	4,372	4,441	4,254	4,685	5,789	1,863	47.5
B 西荻地域	6,269	6,378	6,904	7,876	7,702	7,134	7,811	9,495	2,591	37.5
C 萩窪地域	7,868	7,994	8,232	9,132	8,835	8,054	8,771	10,469	2,237	27.2
D 阿佐ヶ谷地域	8,693	8,702	9,190	10,258	9,700	8,511	9,110	10,972	1,782	19.4
E 高円寺地域	7,415	7,629	7,833	8,560	8,062	6,951	7,475	9,076	1,243	15.9
F 高井戸地域	7,796	7,816	8,366	9,511	9,565	8,898	9,581	10,953	2,587	30.9
G 方南・和泉地域	6,732	6,854	7,166	8,013	7,805	6,659	6,901	8,213	1,047	14.6

杉並区7地域別前期老人人口構成比の推移と予測

日本人+外国人	(人)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	ポイント増	
杉並区全体	9.4%	9.3%	9.6%	10.7%	10.4%	9.4%	10.1%	12.2%	2.57%	
A 井草地域	8.9%	8.8%	8.9%	9.7%	9.6%	9.1%	9.9%	12.0%	3.13%	
B 西荻地域	9.2%	9.1%	9.4%	10.7%	10.3%	9.4%	10.3%	12.4%	2.98%	
C 萩窪地域	9.6%	9.4%	9.5%	10.6%	10.3%	9.5%	10.5%	12.7%	3.17%	
D 阿佐ヶ谷地域	9.5%	9.5%	10.0%	11.3%	10.8%	9.6%	10.5%	12.9%	2.89%	
E 高円寺地域	9.0%	9.1%	9.3%	10.1%	9.5%	8.1%	8.8%	10.6%	1.36%	
F 高井戸地域	10.0%	9.6%	9.9%	11.3%	11.3%	10.5%	11.4%	13.1%	3.16%	
G 方南・和泉地域	9.3%	9.4%	9.7%	10.8%	10.5%	9.0%	9.4%	11.3%	1.54%	

このページに関する資料：杉並区資料より作成

## 2-1-9. 後期老人人口(75歳以上)

5.2万人から0.7万人(12.7%)増加し、5.9万人になる

杉並区の後期老人人口は、2010年の5.2万人から、2035年には0.7万人(12.7%)増加し、5.9万人になる。

構成比は、9.7%から11.0%に1.3ポイント増加する。全7地域の構成比が上昇する。



### ●全7地域で後期老人人口が増加する

2010年～2035年に老人人口が増加するのは全7地域で、増加数が千人を越えるのは、西荻(増加数1.5千人、以下同様)、高井戸(1.3千人)、井草(1.1千人)の3地域である。

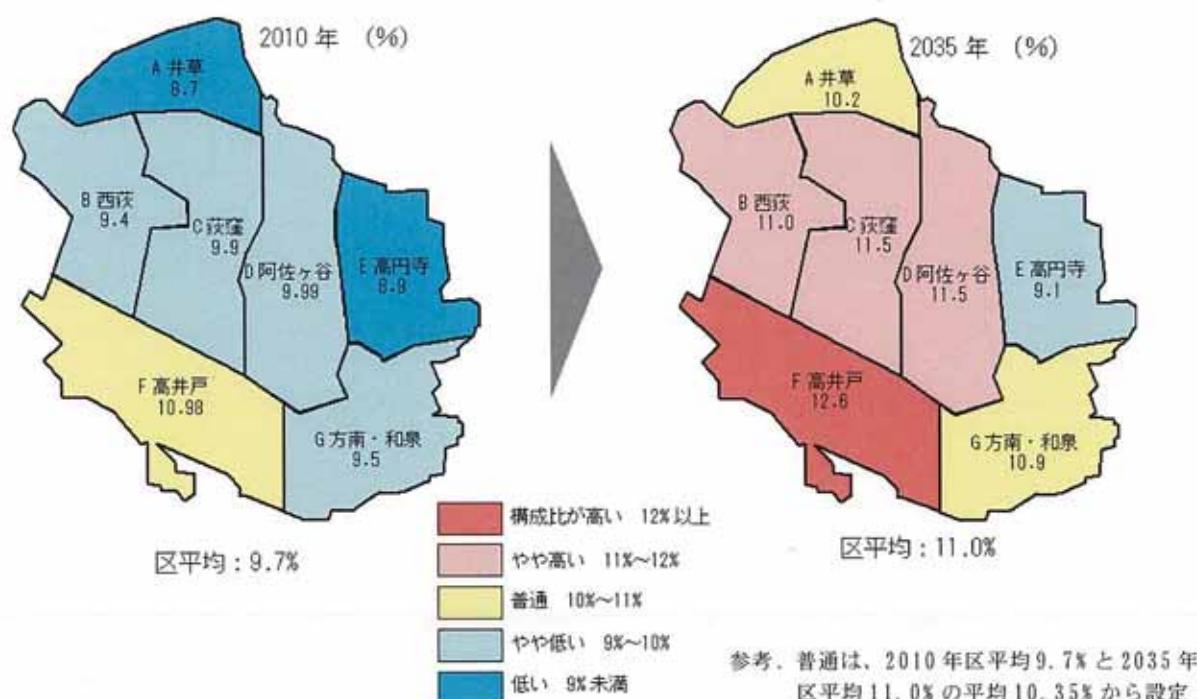
### ●構成比は全域で高まる

2010年には構成比が「やや高い」(11～12%)を越える地域は無いが、2035年には「やや高い」を越えないのは、高円寺、井草、方南・和泉地域の3地域になる。

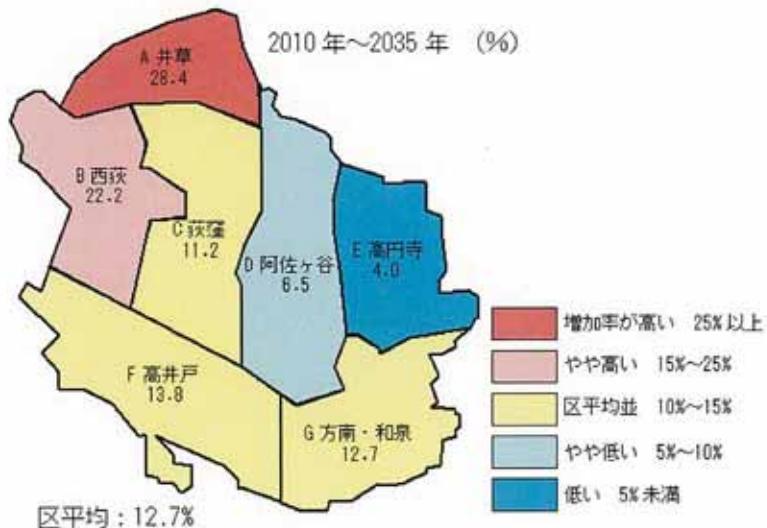
### ●構成比の増加が目立つのは、荻窪、高井戸、西荻、井草

2010年～2035年に杉並区は構成比が1.3ポイント増加する。構成比が1.5ポイント以上増加するのは、荻窪(増加ポイント1.65、以下同じ)、高井戸(1.61)、西荻(1.59)、井草(1.54)、の4地域である。注阿佐ヶ谷(1.497)、方南・和泉(1.3)

一方、構成比増加ポイントが低い地域は、高円寺(0.26)の1地域。



杉並区7地域別後期老人人口構成比 2010年と2035年の比較



杉並区7地域別後期老人人口増加率 2010年～2035年

### ● 後期老人人口増加率も西高東低

増加率が高い 井草、やや高い 西荻、区平均並 高井戸、方南・和泉、荻窪

この間の増加率は区平均で12.7%、増加率が高い地域は井草（増加率28.4%、以下同じ）、やや高いのが西荻（22.2%）、区平均並が高井戸（13.8%）、方南・和泉（12.7%）、荻窪（11.2%）である。

増加率が低い地域は、高円寺(4.0%)、やや低いのは阿佐ヶ谷(6.5%)である。

杉並区7地域別後期老人人口の推移と予測

日本人+外国人	(人)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	増加数(人)	増加率(%)
杉並区全体	35,353	43,752	52,277	50,223	54,076	59,836	60,638	58,924	6,647	12.7
A井草地域	2,344	3,106	3,837	3,860	4,189	4,655	4,866	4,925	1,088	28.4
B西荻地域	4,735	5,707	6,883	6,658	7,298	8,219	8,427	8,409	1,526	22.2
C荻窪地域	5,765	7,106	8,573	8,205	8,790	9,622	9,717	9,535	962	11.2
D阿佐ヶ谷地域	6,310	7,813	9,209	8,741	9,420	10,377	10,325	9,803	594	6.5
E高円寺地域	5,372	6,434	7,482	7,191	7,780	8,469	8,350	7,784	302	4.0
F高井戸地域	6,034	7,771	9,264	8,611	9,080	10,139	10,515	10,546	1,282	13.8
G方南・和泉地域	4,793	5,815	7,029	6,957	7,519	8,357	8,439	7,923	894	12.7

杉並区7地域別後期老人人口構成比の推移と予測

日本人+外国人	(人)								2010年～2035年	
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	ポイント増	
杉並区全体	6.9%	8.3%	9.7%	9.3%	10.0%	11.1%	11.3%	11.0%	1.3%	
A井草地域	5.9%	7.6%	8.7%	8.6%	9.1%	9.9%	10.2%	10.2%	1.5%	
B西荻地域	6.9%	8.2%	9.4%	9.0%	9.7%	10.9%	11.1%	11.0%	1.6%	
C荻窪地域	7.0%	8.4%	9.9%	9.5%	10.3%	11.4%	11.6%	11.5%	1.6%	
D阿佐ヶ谷地域	6.9%	8.6%	10.0%	9.6%	10.5%	11.7%	11.9%	11.5%	1.5%	
E高円寺地域	6.5%	7.7%	8.9%	8.5%	9.1%	9.9%	9.8%	9.1%	0.3%	
F高井戸地域	7.7%	9.5%	11.0%	10.2%	10.8%	12.0%	12.5%	12.6%	1.6%	
G方南・和泉地域	6.6%	8.0%	9.5%	9.4%	10.1%	11.3%	11.5%	10.9%	1.3%	

このページに関する資料：杉並区資料より作成

